

西東京市例規検索・例規編集システム等の提供及び管理業務仕様書

1 目的

この仕様書は、例規管理に係る事務の効率化と法制執務体制の充実を図るため、西東京市例規検索・例規編集システム等の提供及び管理業務の見積書作成に必要な事項を定めるものである。

2 事業概要

西東京市例規集に登録されている条例、規則等をデータベースにおいて、ウェブでの検索、表示、印刷する等の機能にとどまらず、例規起案審査機能を備えたシステムの提供及び管理を行うものである。

3 仕様

(1) 基本仕様

- ア. LGWAN-ASP 方式 及び IDC（インターネット・データ・センター）方式のいずれの方法であってもサービスを提供できる構成とする。
- イ. 庁内の LGWAN 接続が可能な全てのパーソナルコンピューター端末で、例規集データの検索・閲覧、例規起案・審査を利用できる環境を実現するため、特別なソフトをインストールすることなく、次のソフトウェアで使用可能なシステムとすること。

【動作環境】

- 0 S : Windows 10 以上
- ブラウザ : Microsoft Edge(Chromium 版)、Google Chrome

(2) システム仕様（例規）

- ア. 例規検索・編集システム
 - ① 例規検索機能
用語、題名、体系、五十音、年月日、種別・番号から例規を検索できる機能
 - ② 施行時点検索機能
指定した年月日時点で施行されている例規（未施行を含む）を閲覧できる機能
 - ③ 本文表示機能
例規本文、原議本文を表示できる機能
 - ④ リンク機能
条文中の例規・法令の引用箇所についてリンクアンカーが張られ、該当箇所を表示できる機能
 - ⑤ 原議リンク機能
例規沿革情報から原議本文表示できる機能
 - ⑥ 本文出力機能

例規全文又は選択した条、項、号等を RTF 形式でダウンロードできる機能

⑦ 新旧対照表出力機能

例規本文を新旧対照表形式にて RTF 形式でダウンロードできる機能

⑧ 出力フォーマット設定機能

例規条文・新旧対照表の出力設定ができる機能

イ. 例規起案・審査

① 条文編集機能

クライアントに特別なソフトウェア等を必要としない、ウェブブラウザ上で条文を編集できる機能

② 改正文生成機能

条文の編集を行った後、改正文を自動生成する機能

③ 新旧対照表生成機能

条文の編集を行った後、新旧対照表を自動生成する機能

④ 条文点検機能

条文構造、日本語表記、形式事項、引用関係について点検できる機能。

⑤ データ取込み機能

システム外で作成した新規制定の例規データをシステムに取込み、システム上で編集し、法制執務の観点から点検できる機能

ウ. ホームページ公開用システム

市民公開用として、体系、五十音、所管情報から例規を検索し、閲覧できるシステムを用意すること。

(3) システム仕様（法令・判例）

ア. 法令検索システム

- ① 現行の法律・政令・省令を検索・閲覧できること。
- ② 官報掲載法令を検索・閲覧できること。
- ③ 法令本文から関連する法令、通知、判例を表示できること。
- ④ 法令本文から委任、罰則規定等の参照条文を表示できること。
- ⑤ 更新は週に 1 回実施すること。

イ. 法令改廃情報提供システム

- ① 法令改廃情報を原則として官報発行の 3 営業日後に提供できること。
- ② 法令の制定・改廃等の影響を受ける例規を、改正対象法令名と関連付けた一覧で確認できること。
- ③ 制定・改廃のあった法令を引用している例規本文を表示できること。
- ④ 公布法令の概要（あらまし）を確認できること。
- ⑤ 例規の制定改廃に伴うモデル案を確認できること。

ウ. 判例検索システム

- ① 公式判例集及び判例雑誌に掲載された判例を検索・閲覧できること。
- ② 判例集に記載された判事事項のほか、事案の概要及び判例要旨を表示できること。
- ③ 判例本文から関連する法令を表示できること。
- ④ 更新は週に1回実施可能であること。

(4) 法制執務支援サービス

ア. 法制執務相談

例規に係る、制定、整備、解釈その他の法制執務に関する諸事項に関し日常生じる疑義の照会や相談について対応すること。

イ. 先行事例提供

新たな例規を制定する際の参考事例として、他の自治体等にその先行事例等がある場合は、これらを提供すること。

(5) システム操作のサポート

- ア. システム導入後、市の要望に応じ職員に対し操作説明研修会を実施すること。
- イ. 操作方法についての問い合わせ窓口（電話、メール、FAX等）を設置すること。

4 保守等について

- (1) 機器の修理が必要になった場合、迅速に障害対応をすること。
- (2) 夜間バッチ処理による前夜時点でのバックアップデータの保管管理や、障害発生に備えた機器の冗長化対策によるデータの復旧など、データの復旧に対し万全の体制を整えること。
- (3) ウィルスチェックソフトの導入により、既知のウィルスを検知して隔離、削除などの措置を行うこと。

5 納入方法

事業者が所有するデータセンターに専用サーバを設置し、インストールするものとする。

6 納入時期

令和6年9月2日（月）までに納入し、令和6年10月1日（火）から本稼働すること。

以上